

秋田市自転車利用環境のあり方 に関する提言(素案)

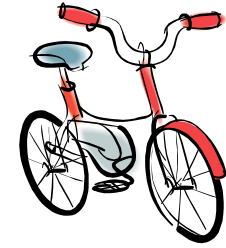
(仮称)

自転車にやさしいまちを目指して



自転車利用の現状と問題点

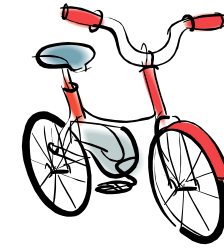
(第1回懇談会で出た主な意見)



利用環境(ソフト)

- 自転車利用者のマナー違反者の多さと、それによる事故の発生
- 自転車利用者のルールの認識不足
- 自転車、車、歩行者の空間のすみ分けがされていない
- 自転車の種類によって走行速度が違うため、自転車をひとくくりにした定義付けは危険
- 自転車利用者は短距離の移動が主で、秋田では片道5 ~ 6 kmまで

自転車利用の現状と問題点

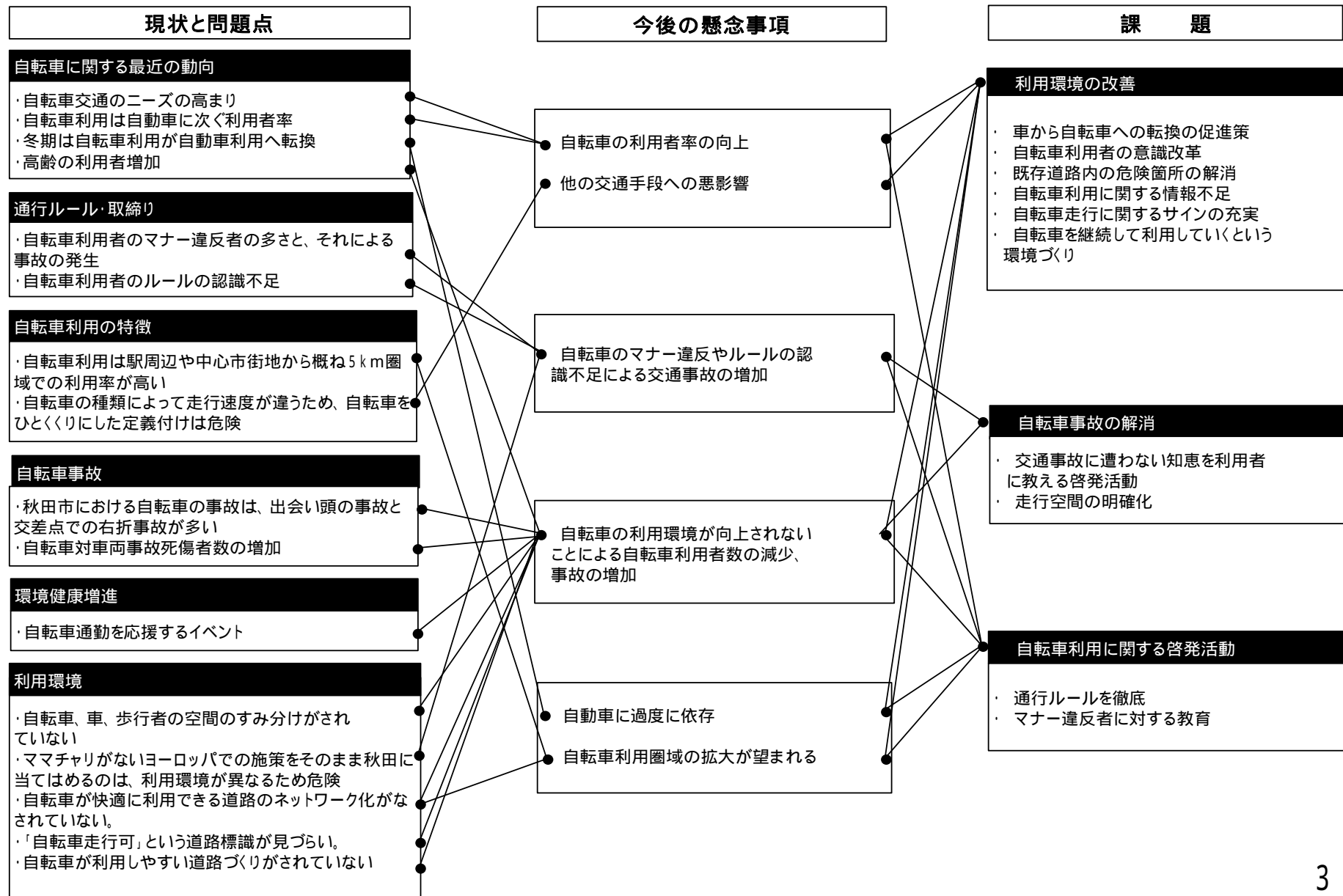


(第1回懇談会で出た主な意見)

利用環境(ハード)

- 秋田市における自転車の事故は、出会い頭の事故と交差点での右折事故が多い
- 道路の段差、隙間、横断勾配がきつい等の危険な構造の場所が見受けられる
- 既存道路内で自転車走行空間が明確でない
- ママチャリがないヨーロッパでの施策をそのまま秋田に当てはめるのは、利用環境が異なるため危険
- 自転車が快適に利用できる道路のネットワーク化がなされていない。
- 「自転車走行可」という道路標識が見つからない。

自転車利用環境の課題の整理



自転車利用の課題



利用環境の改善

- ・車から自転車への転換の促進策
- ・自転車利用者の意識改革
- ・既存道路内の危険箇所の解消
- ・自転車利用に関する情報不足
- ・自転車走行に関するサインの充実
- ・自転車を継続して利用していくという環境づくり

自転車事故の解消

- ・事故に遭わない知恵を利用者に教える啓発活動
- ・走行空間の明確化

自転車利用に関する啓発活動

- ・通行ルールを徹底
- ・マナー違反者に対する教育

自転車利用環境の改善策

(第1回懇談会で出た主な意見)



利用環境(ソフト)

- マナー向上、ルール認識のための啓発活動(参資-3-1)
- 比較的安全に走行できる自転車走行推奨ルートマップの作成(参資-3-2)
- 車の免許にあたるパスポートの発行(参資-3-3)
- 自転車の楽しさを理解してもらうためのイベント活動(参資-3-4)
- 自転車利用者に対するメリットの付加(参資-3-5)
- 自転車利用者、車利用者、歩行者それぞれの信頼関係の構築するための啓発活動
- 秋田市独自の自転車ブランドを立ち上げ、自転車に対する市民の意識を改革(参資-3-6)

自転車利用環境の改善策

(第1回懇談会で出た主な意見)



利用環境(ハード)

- 既存道路で利用環境を向上させる(参資-4-1)
- 自転車、車、歩行者それぞれが安全でバランスのとれた道路整備(参資-4-2)
- 自転車がどこを走行すべきかのサインの整備(参資-4-3)

提言に盛り込みたい事項



利用環境の改善

駐輪場のサービスステーション化

- ・駅東西駐輪場に自転車修理店同等のサービスを設ける(参資-4-5)
- ・レンタルサイクルの設置(参資-4-4)

自転車優先道の整備

- ・自転車レーンを設けるより既存の一方通行道を優先道として活用
- 自転車レーンの整備
- ・車道左側の通行レーンの整備(参資-4-1)

走行時の危険箇所の改善

駅周辺の駐輪場の無料化

公共施設、店舗などでの駐輪場の設置と案内サインの明確化

自転車事故の改善

- 自転車ヘルメットの無料配付(レンタル)
- ・秋田市オリジナルのヘルメットを作成し、配付又はレンタル(参資-4-6)

各地区交通安全協会と地区住民の道路状況の再検討

時間差の道路使用(高齢者のラッシュ時の使用をさける)、安心安全走行の啓発(参資-3-7)

自転車利用に関する啓発活動

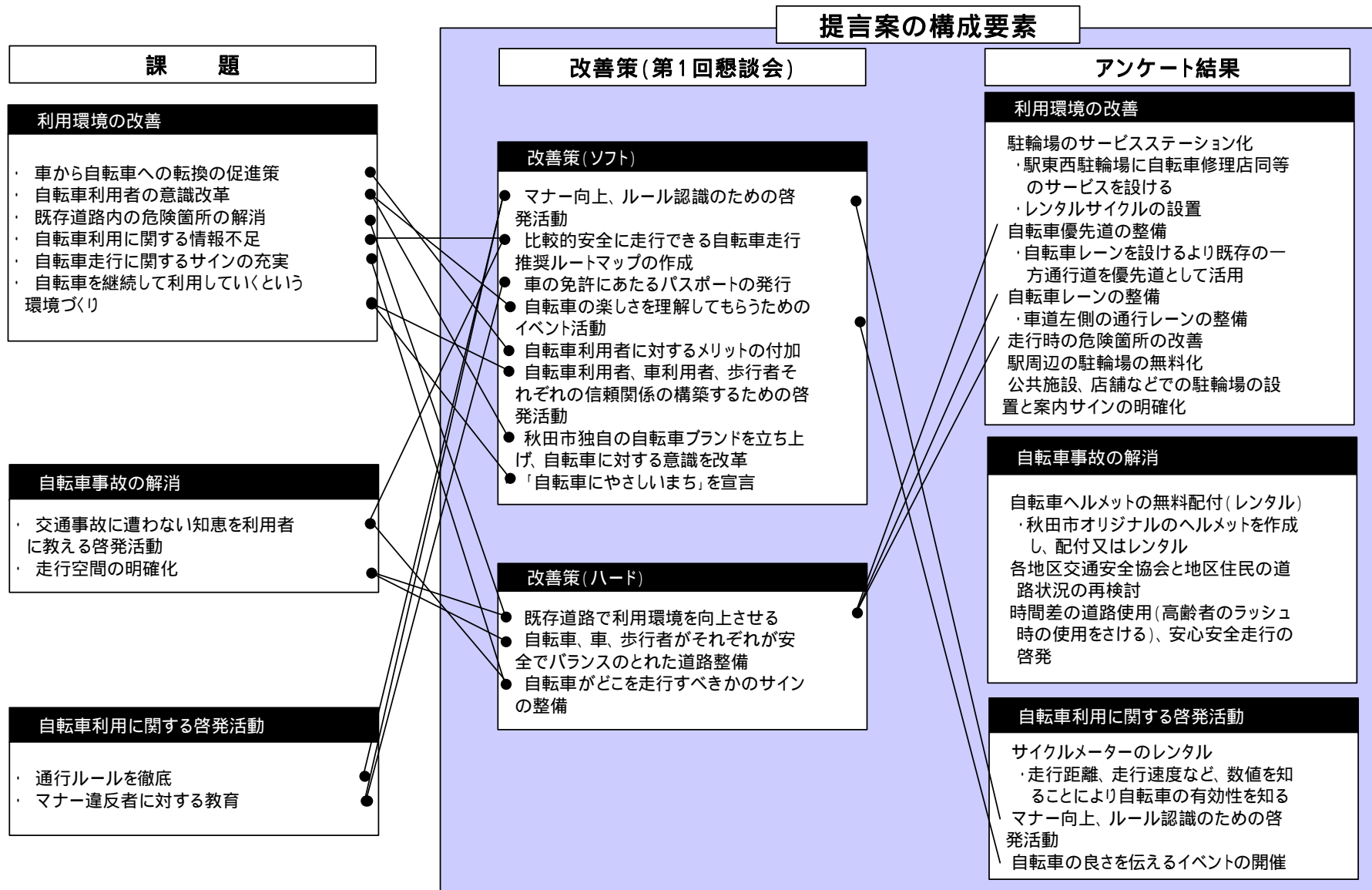
サイクルメーターのレンタル

- ・走行距離、走行速度など、数値を知ることにより自転車の有効性を知る(参資-3-4)

マナー向上、ルール認識のための啓発活動

自転車の良さを伝えるイベントの開催

自転車利用環境の改善案、提言案の整理



提言に盛り込みたい事項

自転車利用への興味や関心、動機付けを促す目的として以下を提案いたします。

- ・ 秋田市自転車マップの作成
(おすすめの道、安全な道、自転車店、自転車ルール、マナーを掲載)
- ・ 市の建物や各コミセンに共通の貸し自転車を用意し、乗り降り自由にする
- ・ 公共交通を組み合わせた自転車ツアーの実施
(例：秋田駅～ 自転車 ～秋田港～ 船 ～男鹿～ 自転車+バス ～秋田駅)
- ・ 自転車来場者への公共建物の利用料割引を実施
(例：アトリオンへ自転車で行くと美術館の割引券が発行される)
自転車購入や修理の助成チケット発行
メッセージ「例：この商品の売上の一部は秋田市自転車利用環境の～に利用されます」
のある手軽な自転車グッズ(反射板、バックライト、スポークカード等)の販売。購入者が自転車を楽しみながらも、簡単に何かに協力する意識付けになる
秋田市オリジナルの自転車用エコバックを制作販売
(デザインは秋田に関連のある人物、企業ロゴやスギっち等)

: 資料 - 1 P8 の「提言案の構成要素」と重複しないもの